

「自分の考えを持ち、主体的に学びに向かう子どもの育成 ～考えて、書いて、話して～」

今年度2回目の家庭学習がんばり週間へのご協力をいただき、ありがとうございました。学年の目標に照らし合わせて自分の目標を定め、臨みました。各家庭での子どもたちの頑張りはいかがだったでしょうか？是非、頑張ったことを大いに誉め、次の意欲につなげていただければと思います。

さて、2学期が終わろうとしています。2学期は行事や取組の多い学期ですが、教科等の学習内容も盛りだくさんでした。初めてであう問題にも、あきらめずにチャレンジし、「考えて」「書いて」「話して」プラス「聞いて」、学習に向かう子どもたちでした。「努力は人を裏切らない」と言いますが、すぐに結果が出なくても、粘り強く取り組み、ふり返りながら次に向かう力が、きっと将来役に立つものだと思います。冬休みに入り、年末年始の行事もあって慌ただしい日々だとは思いますが、学習のリズムを崩さず、自分の課題に合わせた主体的な家庭学習に取り組んでほしいと思います。

保護者の皆様、2学期も家庭学習を中心に子どもたちの学びを支えていただき、ありがとうございました。3学期も、どうぞよろしくお願いいたします。



研究授業 9月3年生、10月4年生、5年生、11月1年生

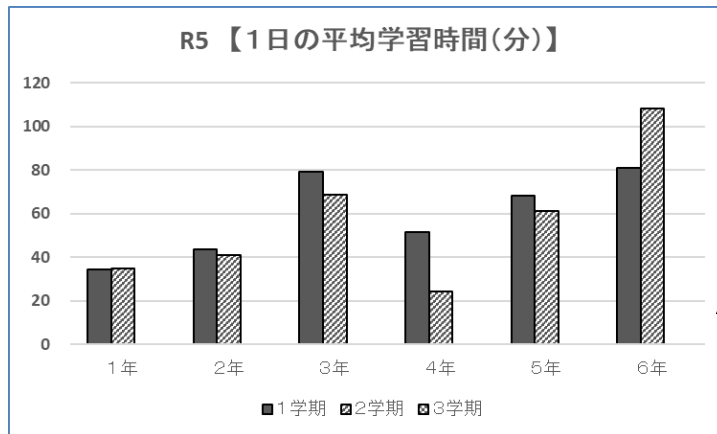
2学期は4学年で研究授業を行いました。3年生は「あまりのあるわり算」で、あまりの数をどう処理するか、という学習でした。図に表すことで、あまりの数字が何を表しているかに気がきました。4年生は「面積」。初めてであう形でも、既習の知識を使って様々に考えることができました。5年生も「面積」でしたが、4年生で学習した「正方形」「長方形」の面積の求め方を使って、形を変形しながら「三角形」の面積や「平行四辺形」などの面積を求めてきました。本時は、その学びを生かして、初めて出あう図形に挑戦しました。知っている形になるように区切ることで、その面積を求めることができました。1年生は、「ひきざん(2)」の学習でした。

「11-4」は、10と1に置いたブロックを操作することで「10から4を引いて6」「6と1で7」という「ひきざんのしかた」を自分たちでつくり、唱えながら計算することで定着を図りました。

研究テーマ「考えて」「書いて」「話して」を授業に取り入れながら、「共に学ぶ楽しさ」や「分かる喜び」を味わえるよう、今後も授業づくりに努めたいと思います。



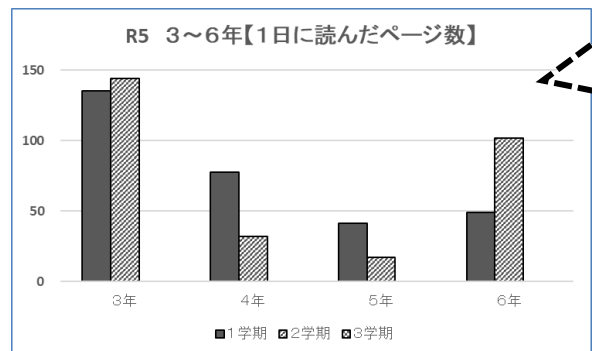
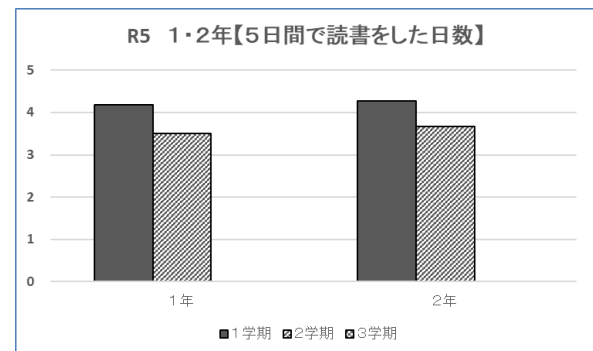
家庭学習がんばり週間での様子



2学期はインフルエンザが猛威を振るい、思うように家庭学習ができなかった児童もいました。そんな中でも、目標に向かって努力する姿も見られました。

～感想より～

- 【1年児童】まいにち たいへんだったけど、100まなびをもらえてうれしかった。
- 【4年児童】自主学習ができるようになりました。
- 【5年児童】自主学習がたくさんできて、よかった。
- 【2年保護者】進んで読書をしていて、よかった！
- 【3年保護者】毎日の自主学習が習慣になるように、これからも毎日がんばってください。
- 【6年保護者】毎日コツコツできました。こたつではなく自分の勉強机で環境を整えて、集中してできたのは、さすが！と思いました。中学生が楽しみです！



家庭教育委員会の「親子読書リレー読書」も、読書に親しむよい機会となりました。同じ本を読むことで共通の話題での会話が生まれ、感想を伝えあうことで、共感したり違いに気が付いたりします。1人での読書ではなく「親子で」というところがポイントですね！

2学期は、漢字検定とあわせて計算検定にも挑戦です。検定の日までに、家庭学習を中心にプリントに取り組むなど、主体的に取り組んできました。

